



録画配信はこちら

庁舎集約化後の福祉課・健康推進課・子ども支援課は

Q ワンストップサービス維持のため、現状配置の継続を

A 福祉関係の3つの課は、現在の保健センターに配置する

医療費無料化について

問 18歳までの医療費無料化の実施を求める。

答 (住民課長) 現時点でその計画はない。

新型コロナウイルスについて

問 5月8日から新型コロナウイルスが5類になった。

答 (くらし安全環境課長) ①変わりなく情報提供をすることを求める。
②新型コロナウイルスについての相談はどのような状況か。
③ワクチン接種率・接種会場への交通手段の支援は。

問 (健康推進課長) ①推奨される情報等は広報等で広く住民周知に努める。
②件数は減少傾向である。
③令和5年度春・夏ワクチン接種対象者の接種率は65歳以上が42.2%。(5月末日)自宅から接種会場まで送迎の用意がある。

ごみカレンダー

問 今年度から、ごみカレンダーが毎月の形式から一枚に年間全てが記入されたものになった。その理由は。

答 (くらし安全環境課長) ごみ削減につながる第一歩として、令和5年度カレンダーを一枚両面仕様に変更し、最終的に廃棄物として出される際の紙の減量化を図った。

ごみ減量化

問 今年度中に町民の声を積極的に聴き、来年度からごみカレンダーを元の形式に戻すことを含め、使いやすい形を検討・改善することを求める。

答 (くらし安全環境課長) 今年度中に町民の声を積極的に聴き、来年度からごみカレンダーを元の形式に戻すことを含め、使いやすい形を検討・改善することを求める。

町長2期目の選挙時の公約とは

Q 自然環境を生かし、過疎化が進む町東部地域の活性化は

A 地域の活性化は行政の力だけではなく民間等の活力が必要



録画配信はこちら

公共施設(建物)個別施設計画(第一期)後期に示された計画について

問 今回の個別施設計画第一期後期の改訂について、簡単な報告のみでどのような過程を経て現状の個別施設計画第一期後期が策定されたのか不明であり、改訂に至った経緯を問う。

答 (公共施設最適配置推進室長) 本計画は2019年3月に策定し、第一期の計画期間を8年間とし、中間年に計画を見直すとしていたため、今回見直しを実施した。

問 個別計画は、公共施設総合管理計画の方針を受け、それを展開している。公共施設等総合管理計画は、令和3年度に改定していることから、その関係性について具体的に説明を求める。

答 (公共施設最適配置推進室長) 平成28年度に総合管理計画を策定以降、各自治体の取り組みにより状況に変化があることから、公共施設等の状況把握のため、国の改訂指針に

町長2期目の選挙公約。自然環境を生かし、過疎化が進む町東部の活性化について

問 町長は二期目の選挙のなかで自然環境を生かし、過疎化が進む町東部の活性化を打ち出している。二期目の初年度、この点について質問したが二期目が始まった時期でもあり、具体的な答弁はいただけなかったことから、今回、一年経過し再度町長の考えを問う。

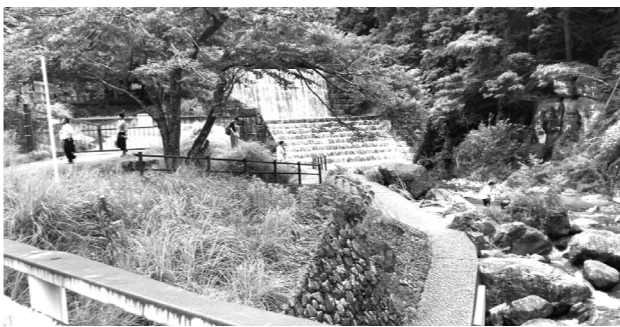
答 (町長) 昨年の6月議会に自然や歴史・文化遺産など多様な地域資源が存在する町東部地域であるが、その活性化は行政の力だけで成し得るものではなく、住民参画や民間活力の活用など、様々なステークホルダーの参画を促し、関連する施策等が相乗効果を生む仕組みづくりや、プラットフォームが肝要であると考えていることを答弁したところである。本町では、令和4年度に策定した町都市計画マスタープランにおいて、東部地域の将来都市構造を設定している。多様な地域資源を生かした余暇や娯楽と密接につながる機能や農との交流などのほか、町内外からの集客を図る観光機能等の発揮に向けた環境整備に取り組むとしている。

基づき見直しを行った。また財源部分において、総合管理計画の改訂状況を踏まえ、今後の公共施設適正管理事業債の継続を考えるとされたこともあり見直しを行ったものである。個別施設計画においては、前期計画以降の整備の方向性を反映し、個々の施設について、具体的にどの様な取り組みをしていくのか等を踏まえ、当初の計画どおり中間年での見直しを行った。

問 この質問は選挙があったときに公約された部分であり、町民の多くの方々が考えておられること、この答弁でもって、町長が考えておられることをどのように受け止めておられるか、もう少し具体的な点を問う。

答 (町長) 今までから大きなテーマに

史・文化遺産など多様な地域資源が存在する町東部地域であるが、その活性化は行政の力だけで成し得るものではなく、住民参画や民間活力の活用など、様々なステークホルダーの参画を促し、関連する施策等が相乗効果を生む仕組みづくりや、プラットフォームが肝要であると考えていることを答弁したところである。本町では、令和4年度に策定した町都市計画マスタープランにおいて、東部地域の将来都市構造を設定している。多様な地域資源を生かした余暇や娯楽と密接につながる機能や農との交流などのほか、町内外からの集客を図る観光機能等の発揮に向けた環境整備に取り組むとしている。



自然豊かな宇曾川渓谷

問 (くらし安全環境課長) 各種イベント等でアンケート調査を予定している。ご意見を頂きながら、検討したい。

障害福祉サービスの苦情処理

問 障害福祉サービス事業所に第三者委員が設置されていない場合、苦情に対する対応は。

答 (地域包括支援センター所長) 福祉課に相談していただければ、聞き取りして支援する。

庁舎集約化計画について

問 庁舎集約化で、福祉課・健康推進課・子ども支援課は現在の保健センターに移る計画である。ワンストップサービス維持のため愛知川庁舎一階の課の配置は現状のままにするよう、計画変更を求める。

答 (町長) 福祉関係の3つの課は、現在の保健センターに配置する。